

静岡県精神保健福祉協会

News Letter -No.15-



巻頭言



静岡県精神保健福祉協会 常務理事

土屋 正純（静岡県障害者支援局障害福祉課 精神保健福祉 室長）

静岡県は、去る5月11日に、若者向けの自殺予防相談窓口「若者こころの悩み相談窓口～生きるのがつらくなったあなたへ～」を精神保健福祉センター内に開設しました。

県内の自殺者数は、平成22年の854人をピークに減少傾向にあり、平成26年の自殺者数は、今年6月に公表された人口動態統計調査の速報値では、平成10年に自殺者数が急増して以降、初めて700人を下回り、673人となりましたが、若年層の死因の第1位が「自殺」であるという事実を重く受け止め、これまで以上に、若年層に向けた自殺対策を進めていかなければならないと考えております。

それから、アルコール依存症を原因とする自殺や飲酒運転などのアルコール関連問題への対応の重要性も高まっていることを受けて、昨年6月1日に「アルコール健康障害対策基本法」が施行されました。

県としましては、国と連携しつつ、アルコール関連問題にかかる相談支援、社会復帰支援、民間団体の活動支援等、本県の状況に応じた施策の策定及び実施に取り組んでまいります。

また、本県では、「静岡県第4期障害福祉計画」を今年3月に策定いたしました。

この計画の中で、平成26年3月に公布されました「精神障害者の医療の提供を確保するための指針」を踏まえ、「入院中の精神障害者の地域生活への移行」について、入院期間が1年以上の「長期在院者数」の減少や、長期入院者を新たに生まないように「入院後3ヶ月時点の退院率」、「入院後1年時点の退院率」を目標数値として掲げております。

これらの計画の実現に向けては、静岡県精神保健福祉協会を始めとする医療関係者と福祉関係機関、行政が一体となって取り組んでいく必要がありますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第五十四回 静岡県精神保健福祉協会 理事会・総会を開催いたしました。



理事会の様子

平成27年6月24日（水）静岡県男女共同参画センター（あざれあ）4階特別会議室においては、理事会を午前中に開催。6階大ホールにおいては、午後から総会が開かれました。

総会では、会員機関や市町職員など多くの方が参加されました。ご来賓として、静岡県経営者協会専務理事 秋山辰巳様、静岡県障害者支援局障害福祉課精神保健福祉室長土屋正純様のご出席をいただきました。また、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画など、5つの議案が審議された後、知事表彰4名、精神保健福祉協会長表彰（2種類）23名の授賞式が行われました。



来賓祝辞
県健康福祉部長 山口重則 代理
土屋正純 室長



来賓祝辞
県経営者協会会長 岩崎清悟 代理
秋山辰巳 専務理事



和光病院看護副部長 石川 容子 氏
(認知症看護認定看護師)

～身体拘束しない和光病院の認知症ケアの実践～

埼玉県和光病院看護副部長である石川容子さんをお招きし、『知っておきたい認知症ケア～身体拘束しない和光病院の認知症ケアの実践～』をテーマにご講演いただきました。認知症の原因となる病気とその特徴、中核症状、BPSD（行動・心理症状）について、大変わかりやすい説明していただきました。

認知症の人のケアは、本人が失敗を感じないようにさりげなくサポートすること、できなくなったことはお手伝いをする、家族が家庭看護において無理しすぎないことが大切。認知症にならないと本人の気持ちは完全には理解できないが、分かろうとする努力が大切で、どんなケアがよいか考え続けることが大切であるとのお話がありました。関心が高い内容で、299名という多くの聴講者があり、講演終了後も質問が多数ありました。

◆ 質疑応答の内容を一部ご紹介いたします ◆

Q、患者さんの呼び方は？

A、和光病院は「さん」付け。患者さんは子供ではないし、「さん」付けだから親しみが無いわけではない。「ちゃん」付けをするのは必要性があるときだけで、ケアプランにも記載する。

Q、療養型病院のケアワーカー、医療的な問題で必要な拘束、防護柵などは？より治療が多くなるという事はなかったのか

A、点滴を抜いてしまう方はいる。ナースが見える場所にベッドを置いて点滴をしてもらう。抜いたらダメ、という考えがスタッフにはない。胃瘻している方のミトンを取っても、抜くのは月に1回か2回くらいで、すごく困るという事はない。



Q、掻いて傷つけることは？やっぱり拘束が必要とならないか？

A、身体拘束するものがないし、そういう発想はない。

Q、歩けない方がベッドから降りてしまう場合は？

A、歩けない方には4点柵は使う。それでも転落してしまう人はいる。低床ベッドでマットレスを敷いている。

平成27年度表彰者紹介

平成27年度精神保健衛生功労者（県知事表彰）受賞者一覧

◆ 保健衛生関係団体の役員としての功績

ご所属	お名前
（公社）静岡県精神保健福祉連合会	守屋 博久 様
静岡県精神保健福祉士協会	菅原小夜子 様
（公社）静岡県断酒会	田島 勝正 様

◆ 精神保健社会復帰事業従事者として御尽力された功績

ご所属	お名前
NPO法人すぎな	松本久美子 様

平成27年度静岡県精神保健福祉協会長表彰 受賞者一覧

◆ 特別功労表彰

ご所属	お名前
NPO法人 清水地域精神保健福祉心明会	山田 京 様
精神保健福祉ボランティア ふだん気	奥脇 悦子 様
中遠地域精神保健福祉会 丹誠会	鈴木 恒夫 様
富士ばら会	高田 道夫 様
精神保健福祉会まごころ会	小播 良子 様
NPO法人 精神保健福祉会さざなみ会	佐原伊佐男 様
NPO法人 精神保健福祉みどり会	伊藤 嘉江 様

◆ 永年勤続功労表彰

ご所属	お名前	ご所属	お名前
静岡県立こども病院	山崎 透 様	日本平病院	深澤 弘子 様
沼津中央病院	吉田 裕子 様	朝山病院	政本 里美 様
河津浜病院	谷田部伸志 様		内山さよ子 様
大富士病院	西田 裕子 様		梶原 健 様
南富士病院	吉野 純子 様	鷹岡病院	萩原 智子 様
三方原病院	高見 昌宏 様		清水明日香 様
小笠病院	堀井 秋子 様		佐野みどり 様
佐鳴湖病院	伊藤 愛子 様	富士心身リハビリテーション 研究所附属病院	後藤亜季子 様



おめでとうございます

総会では、長年、精神保健福祉の
推進に御尽力された方々が表彰さ
れました。



こころの健康づくり講演会のご案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及の向上及びその啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上を資するため適当と認めた団体に対し、こころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。今年度開催された講演会と、今後開催予定の講演会をご紹介します。

すでに開催されたこころの健康づくり講演会をご紹介します

■ピアクリニックの訪問型支援について

- 開催日：平成27年4月27日（月）
会 場：藤枝市文化センター 1階大ホール
講 師：
・ぴあクリニックACTリーダー精神保健福祉士 山田創氏
・ACT利用者 高橋郁子 氏
主催者：NPO法人精神保健福祉 藤枝心愛会



<講演会の様子>

99名の参加者がありました。地域では、未受診、医療中断、頻回入院者があり、苦勞を抱えている家族が多かったり、親なき後の当事者を心配する声が多くあります。講師の山田さんの報告、利用者の高橋さんの発表は大変参考になる内容でした。



■元気になるSST

- 開催日：平成27年6月7日（日）
会 場：湖西市市民活動センター
講 師：臨床心理士・医師・SST普及協会東海静認定講師
高木 友徳 氏
主催者：NPO法人 さざなみ会

<講演会の様子>

41名の参加がありました。SSTとは「生活技能訓練」とも呼ばれている支援方法の一つ。家族と友人達との対人関係が苦手な方もトレーニングでスキルを身につけ、コミュニケーション力を高めることができます。

最新の教育訓練の実技を交えながら講演していただきました。実践的に学ぶことができ、大変分かりやすい内容でした。参加者からも「前向きになれた」「心が軽くなれた」等の声をいただきました。

今年度開催予定の講演会です

開催日時	会 場	テーマ・講師	主催団体
平成27年9月5日（土）	菊川市総合保健福祉センター	「知っておきたい正しいうつ病の知識」 服部病院 山名純一 院長	菊川市健康づくり課
平成27年9月27日（日）	菊川市総合保健福祉センター	「精神障害者を持つ人と共に生きる」 高松ストレスケア 高松康浩 院長	菊川市精神保健福祉ボランティアあしたばの会
平成27年10月27日（火）	三島市立保健センター	「こころの傾向を知ろう」 スクールカウンセラー 八木 阿紀 氏	三島市保健委員会

開催日時	会 場	テーマ・講師	主催団体
平成27年11月26日(木)	韮山時代劇場	「地域で心の健康づくりを 進める講演会」 エムオーエー奥熱海クリニック 院長 佐久間哲也 氏	伊豆の国市社会福祉協議会
平成28年 1月23日 (土)	夢づくり会館 学習の部屋 (島田市)	「いいこと活動発表会」 精神障害者が取り組んでいる社会 参加活動を当事者が発表。 こころ利用者	特定非営利活動法人 こころ
平成28年 2月18日 (木)	掛川市総合福祉センター あいりーな	「先生に直接聞いてみよう～診療 を通じて、家族、民生児童委員、 ボランティアに伝えたいこと、期 待すること～」 服部病院 山名純一 院長	掛川小笠地区精神保健福 祉会 ひまわり会

※講演会への参加希望者は、協会事務局へお問い合わせください。

心の健康フェア 2015

音無美紀子 講演会

心を元気にする生き方

～ 乳がん と うつ病 を乗り越えて ～



2015
12/3
(木)

入場無料

事前申込制

(定員 300 名) 11 月 24 日 締切
電話または FAX にて申込受付

静岡市民文化会館 3 階大会議室

開場 11:30

講演 13:00～14:00

PROFIL E 音無美紀子 (おとなし みきこ)

女優。東京生まれ。1971 年に『お登勢 (TBS テレビ)』で女優デビューし、その後も 1982 年映画『男はつらいよ 寅次郎紙風船』、CX 系『はるちゃん (1～4)』など数々のテレビや映画、舞台等で活躍。夫は俳優の村井国夫さん。二人の子を持つ母でもあり、母親と女優を両立する姿勢に、同世代の女性の支持を集めている。1987 年。乳がんが見つかり全摘手術を受ける。その後、病気を隠し続けていたことが引き金となりうつ病になる。つらいうつ病を乗り越え、約半年後に回復、女優業に復帰。



乳がん手術をきっかけに、うつ病に陥りうつ病と闘った女優自身のこれまでに経験したことを講演して頂きます。

第37回ハートフルアート展の
開催日時が決定いたしました。
静岡市民文化会館を今年も会場に、
平成27年11月27日(金) 9:30～
12月3日(木) 12:30迄

申し込み締め切りは9月25日(金) 必着。
詳細につきましては、協会ホームページ
または☎にてお問い合わせください。

今年は、団体部門に加えて、
個人部門を作ってみました！

多くの出展をお待ちしております

静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20 別館 4 階

T E L & F A X 054-202-1220

E-mail: sizuoka_seisin@ybb.ne.jp (事務局出勤日 火・木・金の9時～16時)